

W-4-3

「中国語における非典型的な主語構文 - 「マラソンが 20km を走った」はなぜ言えるのか -」*

于一樂
滋賀大学

1. 基本的なデータ

- (1) a. 这场马拉松 跑 了 二十公里 了。

このマラソン 走る ASP 20km ASP

Lit. ‘このマラソンが 20km を走った。’ (このマラソンは (ランナーが) 20km を走ったところだ。)

- b. 日本系列大赛 打 了 四场 了。

日本シリーズ 戦う ASP 4戦 ASP

Lit. ‘日本シリーズが 4 戦を戦った。’ (‘日本シリーズは (選手が) 4 戦を戦ったところだ。’)

(2) 主張

当該の非典型的な主語構文が成立する条件は、主語名詞が距離や時間・期間にかかわる「終点」の意味を内包する事象名詞で、主語名詞と目的語名詞に共通する典型的な動作を表す動詞が現れることである。そして、当該の構文は、“主語名詞+有+目的語名詞”の所有文の一部を事象化し、主語名詞に内包する「終点」の一部を目的語名詞が *measuring out* として取り出した構文で、文の意味は主語名詞の意味を抛り所とする。

2. 先行研究

(3) 非典型的な主語 (existential)

Gaosu-gonglu-shang kai-zhe yi-pai tanke-che.

expressway-on drive-Dur one-line tank

‘There is a line of tanks on the expressway.’

(4) 非典型的な主語 (Causative)

Zhe-liang po-che kai-de wo xia-si le.

This-Cl broken-car drive-Ext I scare-dead Prt

‘Driving this broken car made me scared to death.’

Lin (2001:117)

(5) 非典型的な主語 (other subject matters)

主語は本動詞ではなく light verb の PROCEED が選択する (Lin (2001))

Zhe-chang malasong yijing pao-le er-shi gongli le.

this-Cl marathon already run-Perf twenty km Prt

‘This marathon has been running for twenty km’s.’ = ‘This marathon has proceeded for twenty km’s.’

- (6) [IP ... [VP this marathon PROCEED [VP run 20 km’s]]

Lin (2001:191-192)

* 本研究は JSPS 科研費 JP20K13004 の助成を受けたものである。また、発表に至るまで、臼杵岳、江口清子、工藤和也の各氏と議論を重ねることができた。感謝を申し上げたい。

3. 分析

3.1. 話題 (Topic) か主語 (Subject) か

(7) unlinked topic (Lambrecht 1994)

这套书, 你 可以 拿走 几本。
このセットの本 あなた てもよい 持っていく 何冊か
‘このセットの本から何冊か持っていてもいいです。’

(8) 主語テスト (所有者関係節化(Possessor relativization))

- a. 这些人 的 子女 在 Stanford 上学。
这些人 GEN 子女 在 Stanford 学校に通う
‘これらの人の子女は Stanford に通っている。’
- b. Stanford 录取 了 这些人 的 子女。
Stanford 採用する ASP これらの人 GEN 子女
‘Stanford はこれらの人の子女を受け入れた。’
- c. [φ_i 子女 在 Stanford 上学 的] 人_i
子女 在 Stanford 学校に通う GEN 人
‘子女が Stanford に通っている人。’
- d. *[Stanford 录取 了 φ_i 子女 的] 人_i
Stanford 採用する ASP 子女 GEN 人
Lit. ‘Stanford が受け入れた子女の人。’

Tan (1991: 32)

- (9) a. 他们 的 新婚旅游 已经 过 了 五天。
彼ら GEN 新婚旅行 すでに 過ごす ASP 5日間
‘彼らの新婚旅行はすでに5日間を過ごした(5日間経った)。’
- b. 新婚旅游 已经 过 了 五天 的 他们。¹
新婚旅行 すでに 過ごす ASP 5日間 GEN 彼ら
‘新婚旅行をすでに5日間過ごした彼ら’
- c. 张老师 的 课 上 了 半个小时 了。
張先生 GEN 授業 行う ASP 30分 ASP
‘張先生の授業は(先生が)30分行ったところだ。’
- d. 课 上 了 半个小时 的 张老师。
授業 行う ASP 30分 GEN 張先生
‘授業を30分行った張先生’

- (10) a. 哪场马拉松 已经 跑 了 二十公里 了?
どのマラソン すでに 走る ASP 20km ASP
‘どのマラソンがすでに20kmを(ランナーが)走ったところですか。’
- b. 哪个季后赛 打 了 四场 了?
どのプレーオフ 戦う ASP 4戦 ASP
‘どのプレーオフが(選手が)4戦を戦ったところですか。’

¹ 言語獲得の研究においても中国語は、NPの数で他動詞と認識することが多いことが実験によって示唆されている (Lee, N. Joanne and Letitia R. Naigles 2008:1034)。

3.2. 代案

- (1) 这场马拉松 跑 了 二十公里 了。
 このマラソン 走る ASP 20km ASP
 Lit. ‘このマラソンが 20km を走った。’ (このマラソンは (ランナーが) 20km を走ったところだ。)

(11) 0km...10km...20km...42.195km

(12) 代案

“有” 所有文		非典型的な主語構文
这场马拉松 有 49.125 公里。	事象化→	这场马拉松 (已经) 跑了二十公里了。
日本系列大赛 有 七场。	事象化→	日本系列大赛 (已经) 打了四场了。
他们的新婚旅游 有 八天。	事象化→	他们的新婚旅游 (已经) 过了五天。

(13) 存現文 (“有” 所有文を含む) (于 2018)

- a. 屋子 里 有 一个人/很多人。
 部屋 中 ある ひとり/たくさん 人
 ‘部屋の中には人がひとり/たくさんいる。’
- b. *屋子 里 有 李四/他/每个人。
 部屋 中 ある 李四/彼/すべての人
 Lit. ‘部屋の中には{李四/彼/すべての人}がいる。’
- c. 屋子 里 {有/坐着} 很多人。
 部屋 中 ある/座る-ASP たくさん 人
 ‘部屋の中には人がたくさん{いる/座っている}。’

(14) 予測 1 (定性の制約)

- a. 这场马拉松 (已经) 跑 了 {*A 地点/^{ok}二十公里} 了。
 このマラソン (すでに) 走る ASP A 地点/20km ASP
- b. 日本系列大赛 (已经) 打 了 {*那一場/^{ok}四場} 了。
 日本シリーズ (すでに) 戦う ASP あの戦/4 戦 ASP

(15) 予測 2 (動作主)

- a. *这场马拉松 他们 跑 了 二十公里。
 このマラソン 彼ら 走る ASP 20km
 ‘このマラソンを彼らが 20km 走った。’
- b. * (他们) 跑 了 这场马拉松 二十公里。
 彼ら 走る ASP このマラソン 20km
 ‘彼らがこのマラソンを 20km 走った。’
- c. *这场马拉松 高高兴兴地 跑 了 二十公里。
 このマラソン 楽しく 走る ASP 20km
 ‘このマラソンを楽しく 20km 走った。’
- d. *这场马拉松 跑腻 了 二十公里。
 このマラソン 走る-飽きる ASP 20km
 ‘このマラソンを 20km 走って飽きた。’

(16) 予測3 (語彙的アスペクト、*for 時間副詞、in 時間副詞) (cf. Tenny 1994)

- a. 张三 跑 了 一个小时 公园。
张三 走る ASP 1時間 公園
‘张三が1時間公園を走った。’
- b. *张三 花了一个小时 跑 了 公园。
张三 1時間で 走る ASP 公園
Lit. ‘张三が1時間で公園を走った。’
- c. *这场马拉松 跑 了 一个小时 二十公里。
このマラソン 走る ASP 1時間 20km
Lit. ‘このマラソンは1時間20kmを走ったところだ。’
- d. 这场马拉松 花了一个小时 跑 了 二十公里。
このマラソン 1時間で 走る ASP 20km
‘このマラソンは1時間で20kmを走ったところだ。’

(17) 主張

当該の非典型的な主語構文が成立する条件は、主語名詞が距離や時間・期間にかかわる「終点」の意味を内包する事象名詞で、主語名詞と目的語名詞に共通する典型的な動作を表す動詞が現れることである。そして、当該の構文は、“主語名詞+有+目的語名詞”の所有文の一部を事象化し、主語名詞に内包する「終点」の一部を目的語名詞が *measuring out* として取り出した構文で、文の意味は主語名詞の意味を抛り所とする。

(18) 合成性

- a. Lin (2001)は run, run 20km, marathon run 20km
- b. ここでの代案は、主語の意味特性が文に成立を左右することを述べている。
- c. 別の可能性として、[这场马拉松 [跑 二十公里]]のような組合せが考えられ、定性の制約も部分(二十公里)-全体(这场马拉松)の関係性から導くことが考えられるが (cf. Belletti 1988)、(19)-(21)の例を統一的に説明することが難しい。

(19) (cf. Chen 1994, 顾 1996)

- a. 这拼酒 喝 了 他 * (一整夜)。
このお酒 飲む ASP 彼 ひと晩
‘このお酒は彼をひと晩飲ませた。’
- b. 那碗面 吃 了 他 * (一头的汗)。
あの拉麵 食べる ASP 彼 額いっぱい汗
‘あの拉麵は彼を額いっぱいの汗にさせた。’

- (20) a. (*大阪城公園) 跑 了 5 公里。
大阪城公園 走る ASP 5キロ
‘大阪城公園は5キロ走った。’
- b. (*这场马拉松) 走 了 二十公里 了。
このマラソン 歩く ASP 20km ASP
‘このマラソンは(ランナーが)20kmを歩いたところだ。’
- c. 教授会 (已经) {开/*睡} 了 两个小时 了。
教授会 すでに 開く/寝る ASP 2時間 ASP
‘教授会は(すでに)2時間{行ったところだ/*寝たところだ}。’

d. 这场战争 已经 打 了 20 年 了。

この戦争 すでに 戦う ASP 20 年 ASP

Lit. ‘この戦争がすでに 20 年戦った。(この戦争は (当事者たちが) すでに 20 年間戦っている。’

4. 副次的なデータ

4.1. Lin (2001)の INCLUDE 分析タイプ

(21) 这个计划 总共 写 了 五篇报告。

この計画 全部で 書く ASP 5つの報告

Lit. ‘この計画が全部で 5 つの報告を書いた。’ (この計画は (誰かが書いた) 5 つの報告書になった。)

(22) a. *Zhe-ge jihua zonggong xie-le wu-pian baogao.*

this-Cl project altogether write-Perf five-Cl report

‘This project has written five reports altogether.’= ‘This project has resulted in five reports altogether.’

b. [IP ... [VP this project INCLUDE [VP write five reports]]

Lin (2001:191-192)

(23) 報告 1, 報告 2, 報告 3, 報告 4, 報告 5... 秘密事項 1, 秘密事項 2...

(24)

“有” 所有文		非典型的な主語構文
这个计划有五篇报告。	事象化→	这个计划总共写了五篇报告。

(25) 予測

这个计划 总共 写 了 { *他的报告/ *全部的报告/ *那个报告/ ^{ok} 五篇报告/ ^{ok} 报告 }。

この計画 全部で 書く ASP { 彼の報告/ 全部の報告/ あの報告/ 5 つの報告/ 報告 }

4.2. 反例に見えるデータ

(26) a. 这个冬瓜 煮 了 { 两锅汤/ 那锅汤 }。

この冬瓜 煮る ASP ふた鍋のスープ/ あのと鍋のスープ

‘この冬瓜は { ふた鍋のスープ/ あのと鍋のスープ } を煮た。’

b. 这笔钱 盖 了 { 五栋房子/ 我的房子 }。

これくらいのお金 建てる ASP 5 棟の家/ 私の家

‘これくらいのお金が { 5 棟の家/ 私の家 } 建てた。’

Lin (2001:191-192)では、動詞“盖”(建てる)を用いた(27b)のような文を(21)と同様に扱っているが、以下からわかるように、(27b)と(21)は異なる構文であるとみなすべきである。

(27) 双数量構文 (于 2018)

两碗饭 (够)吃 三个人。

2 杯のご飯 足りる-食べる 3 人

‘2 杯のご飯で 3 人が食べることができる。’

(28) a. 这个冬瓜 够煮 两锅汤。

この冬瓜 足りる-煮る ふた鍋のスープ

‘この冬瓜で鍋 2 つ分のスープを作ることができる。’

b. 这笔钱 够盖 五栋房子。

これくらいのお金 足りる-建てる 5 棟の家

‘これくらいのお金で5棟の家を建てることができる。’

- c. *这场马拉松 够跑 二十公里。
このマラソン 足りる-走る 20km
- d. *日本系列大赛 够打 四场。
日本シリーズ 足りる-戦う 4戦

- (29) a. 张三的房子 盖 了 半年。
張三の家 建てる ASP 半年
‘張三の家は半年間建築しているところだ。’
- b. *张三的房子 够盖 半年。
張三の家 足りる-建てる 半年

5. まとめ

- (30) a. 这场马拉松有 49.125 公里。 →事象化→ 这场马拉松（已经）跑了二十公里了。
- b. 这个计划有报告。 →事象化→ 这个计划总共写了五篇报告。
- c. 这笔钱（够）盖五栋房子。

項の具現化の課題は、Levin(1985)で指摘があるように、語彙意味論の第一課題であるが、これまで数多くの研究者の研究対象となってきた典型的な構文の分析から得られた知見をそのまま非典型的な構文に適用できるわけではないように思われる。非典型的な構文の体系性（ここでは名詞の意味に頼る項の具現化）を明らかにすることで、文法全体の体系性解明へ今後寄与していきたい。そうすることで、世界知識をどこまで語のシステムに取り入れるべきかという課題についても取り組んでいきたい（cf. Bücking and Maienborn 2019, Hogeweg and Vicente 2020, 于 2020）。

参考文献

- Lambrech, Knud (1994) *Information Structure and Sentence Form*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Belletti Adriana (1988) The case of Unaccusatives. *Linguistic Inquiry* 19(1), 1-34.
- Bücking Sebastian and Claudia Maienborn (2019) Coercion by modification -The adaptive capacities of event-sensitive adnominal modifiers, *Semantics & Pragmatics* 12(9), 1-39.
- Chen Dongdong (1994) UTAH: Chinese Psych Verbs and Beyond. In Jose Camacho and Lina Choueiri (eds.), *6th North American Conference on Chinese Linguistics* 1, 15-29.
- 顾阳 (1996) 〈生成语法及词库中动词的一些特性〉《国外语言学》第3期, 1-16.
- Hogeweg Lotte and Agustin Vicente (2020) On the nature of the lexicon: The status of rich lexical meanings. *Journal of Linguistics* 56, 865-891.
- Lee, N. Joanne and Letitia R. Naigles (2008) Mandarin learners use syntactic bootstrapping in verb acquisition. *Cognition* 106, 1028-1037.
- Levin, Beth (1985) Lexical Semantics in Review: an Introduction, In Beth Levin (ed.), *Lexical Semantics in Review, Lexicon Project Working Papers* 1, 1-62, Center for Cognitive Science, MIT, Cambridge; MA.
- Lin, T.-H. Jonah (2001) *Light Verb Syntax and the Theory of Phrase Structure*. Doctoral dissertation, University of California.
- Tenny, Carol (1994) *Aspectual Roles and the Syntax-Semantics Interface*, Kluwer, Dordrecht.
- 于一楽 (2018) 『中国語の非動作主卓越構文』くろしお出版, 東京.
- 于一楽 (2020) 「名詞のクオリアと中国語の場所を表す非典型的な目的語」由本陽子・岸本秀樹 (編) 『名詞をめぐる諸問題—語形成・意味・構文—』, 236-256, 開拓社, 東京.